

## 根津鋼材

# 蓼科事業所で太陽光発電

## 8月から売電開始

有力コイルセンターの根津鋼材（本社・東京都荒川区東日暮里、社長・根津訓光氏）は「再生可能エネルギー特別措置法」に基づく太陽光発電を開始する。

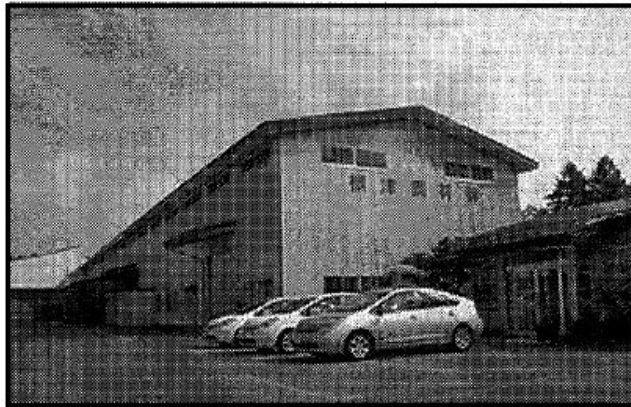
場建屋の屋根に太陽光パネルの設置工事を進めており、8月から発電（売電）事業をスタートさせる。設置パネル数は910枚で、容量（発電出力）は236・6KW。

ある社会・環境を大切に「する」を掲げ、早くから地球環境の保全・配慮を全社で推進。今回の太陽光発電もその一環で「自社の敷地内で安定的に電力供給できるシステムの構築」

蓼科事業所（長野県茅野市玉川原山）で7月の完成をめどに、工

同社は環境ISO認証取得企業であり、経営理念にも「私たちの

須賀川、長沼の事業所（いずれも福島県須賀



太陽光パネルを設置する蓼科事業所

川市）も含めて準備を進めていた。

須賀川、長沼は建屋の強度面で見送りとなるが、社用車にエコカー

が、蓼科は基準をクリア。管轄の中部電力と20年間の「再生可能エネルギー」の固定価格買取制度（買取価格は1KWh当たり42円税込）で契約を結んでいる。

低炭素によるモノづくりを推進する同社では、社用車にエコカー

（ハイブリッド車）を採用し、工場照明を水銀灯からLEDに切り替え、工場内で発生する産廃物の削減に取り組むなど省エネ・環境保全を子会社の村田鋼業（千葉県浦安市鉄鋼通り）も含め、グループ全体で積極的に実施してきた。併せて労働環境の改善や作業の安全対策にも取り組んでおり、各現場で効果をあげている。（4面「流通加工」版に関連記事）